

# こった

## 議会だより

154号

2014.10.28 発行  
愛知県幸田町議会



- 9月定例会のあらまし ..... 2
- 平成25年度決算徹底検証 ..... 4
- 一般質問 ..... 6  
《町長2期目の政策 など9人が質問》
- 特集 住民の声を聞く パート11 ..... 20  
『幸田町老人クラブ連合会』
- あい・らぶ・マイタウン ..... 22  
『みんなの協力で成功した夏祭り』  
『あいさつでつながる幸田町』

じーちゃん・ばーちゃん と あ・そ・ぼ

9月

のし  
会ま  
例ら  
定あ

9月定例会は、9月9日に招集され、10月6日までの28日間の会期で開かれました。

財政健全化判断比率などの報告1件、副町長の選任をはじめ人事案件3件、子育て関連条例3件の制定を含む単行議案6件、補正予算8件、平成25年度決算認定9会計の議案が上程され、可決認定しました。

そのほか、陳情10件を審議し、2件を採択、8件を不採択しました。議員提出議案2件が提案され、可決しました。

一般質問は、9人が当面する町政の問題点などをただしました。

来年4月

# 新しい子育て 支援がスタート 3歳未満も安心保育



くりくりひろば（上六栗子育て支援センター）

子ども・子育て支援の新制度が、平成27年4月にスタートすることに伴い、関係する3つの条例を制定。

## 保育施設などの 運営基準

多様なニーズに 대응するため、保育に係わる施設、定員、運営などを定めた条例。

**Q** 申請・手続きは。  
**A** 10月から加入申請が始まる。  
(反対2賛成13で可決)

## 3歳未満児の 受皿拡大

家庭的保育事業などの設

備・運用基準を定め、保育は原則として1日8時間、1人につき保育面積3・3㎡以上。規模に応じ、保育士など職員配置を規定。  
(反対2賛成13で可決)

## 放課後児童クラブ の設備・運営基準

児童1人につき1・65㎡以上の面積を確保し、1クラス原則40人以下、支援員は2人以上とする。  
**Q** 6年生までの受け入れは。  
**A** 施設に余裕があれば受け入れる。  
(全員賛成で可決)

一般会計  
補正予算

教育施設整備基金に  
5億円積み立て

町民税は、景気を持ち直しを受け、8億3500万円の増加。学校施設の整備などに備えて教育施設整備基金に5億円を積み立てした。

主な事業と質疑

・不燃物処理場の解体撤去 3000万円

Q 跡地の利用計画は、今後検討する。

A 生活道路などの整備

・町営横落住宅の外壁工事 2000万円  
1200万円

人事案件

副町長

成瀬 敦氏  
(反対1賛成14で同意)



大須賀町長が進める「幸せな町、幸田町」の実現のため、さまざまな施策の遂行に微力ではありますが、誠心誠意努力してまいります。

固定資産評価審査委員

鈴木 忠男氏(永野区)

(全員賛成で同意)

教育委員

川口江美子氏(大草区)

(全員賛成で同意)



元不燃物処理場を視察  
(逆川地内)

議員提出議案

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担

制度の堅持及び拡充を求め  
る意見書  
(全員賛成で可決)  
国の私学助成の増額と拡充  
に関する意見書  
(全員賛成で可決)

平成26年度幸田町一般会計・特別会計 9月補正予算と採決結果

会計名	補正額	補正後の額	採決	
一般会計	5億8747万円	137億1047万円	反対1：賛成14で可決	
特別会計	土地取得	4607万円	7558万円	全員賛成で可決
	国民健康保険	1億2884万円	32億8699万円	反対1：賛成14で可決
	後期高齢者医療	163万円	2億9871万円	反対1：賛成14で可決
	介護保険	1779万円	17億1845万円	反対1：賛成14で可決
	幸田駅前土地区画整備事業	221万円	3億2475万円	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	財源更正(0)	3億8524万円	全員賛成で可決
	下水道事業	財源更正(0)	7億7944万円	全員賛成で可決

陳情

○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求め陳情書 陳情者 幸田町教員組合 執行委員長 岩下英司 (全員賛成で採択)	○幸田町公印規程の改正を求め陳情書 陳情者 清水 淳 (全員反対で不採択)
○私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求め陳情書 陳情者 武石幸一 (反対13 賛成2で不採択)	○幸田町情報公開条例の改正を求め陳情書 陳情者 清水 淳 (反対14 賛成1で不採択)
○愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求め陳情書 陳情者 武石幸一 (反対13 賛成2で不採択)	○幸田町と名古屋大学未来社会創造機構社会イノベーションデザイン学センターとの連携と協力に関する協定の非更新を求め陳情書 陳情者 清水 淳 (反対14 賛成1で不採択)
○国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求め陳情書 陳情者 武石幸一 (全員賛成で採択)	○幸田町議会における町長発言に関する公開質問状に対する回答を求め陳情書 陳情者 清水 淳 (全員反対で不採択)
○幸田町文書取扱規程の改正を求め陳情書 陳情者 清水 淳 (全員反対で不採択)	○大草字山寺及び大井池地区一帯を環境保全重点地区とすることを求め陳情書 陳情者 清水 淳 (反対13 賛成2で不採択)

# 町税、増収に転じる 7年ぶりに借り入れせず

**今** 定例会は、平成25年度の決算を審議するため、特別委員会を設置し、一般会計のほか特別会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

**歳入** は景気回復により町税全体として24年度比10億2124万円増加しました。

これにより繰入金は、税収の増により予定していた財政調整基金10億4345万円、都市施設整備基金2億3568万円の繰り入れをとりやめました。

また、町債（借入）は7年ぶりに発行しませんでした。

**歳出** では、わしだ保育園園舎増築・大規模改造、坂崎小・幸田小・幸田中学校地震補強・大規模改造などが計画どおり実施されました。

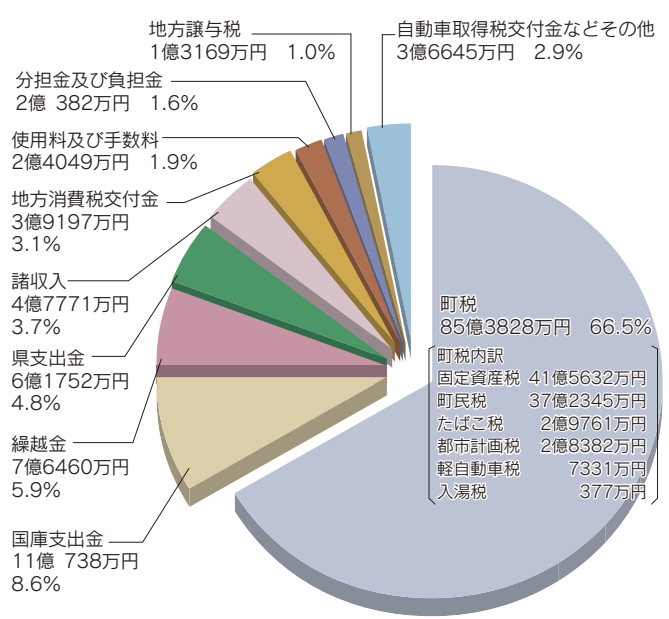
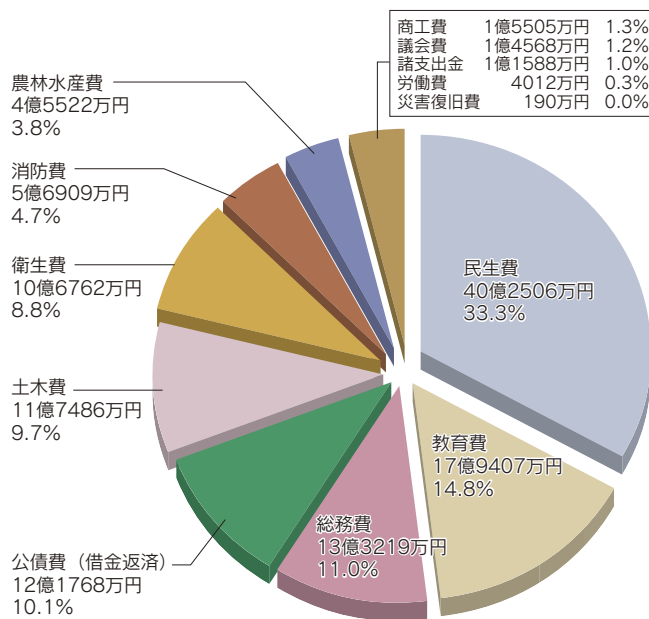
積立金は、財政調整基金に1億325万円、教育施設整備積立金に1億9961万円増加しました。

なお、平成25年度の決算総額は、一般会計（円グラフのおお）と特別会計を合わせて、歳入191億3372万円、歳出181億597万円となりました。

## 一般会計の決算額

**歳出 120億9442万円**

**歳入 128億3991万円**



採決（反対2：賛成13で認定）

平成25年度  
決算審査意見書

監査委員

羽根瀨保博  
内田 等

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行は概ね適正であると認められた。

平成25年度決算では、法人町民などが増加したため、町税全体でも増収となり、財務指標においても改善が見られるなど、リーマンショック後の最悪期を脱出したものと見受けられる決算であった。質の高い住民サービスを持続的に提供するため、更なる事務事業の効率化や行財政運営手法の見直しなどに一層努力されることを望むものである。

# 2日間にわたり集中審議

## 主な質疑

- Q** たばこ税が2億9761万円あるが、完全分煙所を作るべきでは、との町民の声があるが。
- A** 労働衛生安全委員会にて検討する。
- Q** 全国の不交付団体の数と、本町の財政力指数、順位は。
- A** 48団体で、その内13団体が愛知県。1・04で県内8位である。
- Q** 平成25年5月、総合窓口が開設したが、住民の要望に込んでいるか。
- A** ワンストップは喜ばれているが、課題も聞いている。今後検討していく。
- Q** 教育相談活動の件数が増加している。スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置を。
- A** スクールカウンセラーが巡回しているが、充実するためにSSWを研究する。
- Q** 駅西駐車場の無断駐車が多いが。
- A** 第2駐車場は60台ほどになる。車両番号の確認
- と所有者特定で手続きを促す。
- Q** 要支援1と2の通所介護、訪問介護が介護保険の対象から外れる。対象者と対応は。
- A** 対象は232人で、今後は、地域支援事業として町がおこなう。
- Q** 坂崎遊水地利用が少ない。サッカー場として活用できないか。
- A** 検討していく。
- Q** デマンドバスの運用を今後研究していく。
- A** AEDを24時間使用できる所に設置を。
- Q** 今のところ考えはない。ふれあい農園の利用料と区画数。拡充は。
- A** 一区画年間5000円で68区画ある。テーマをもった農園とし、就農につながるようにしたい。
- Q** 橋梁の数と点検方法は。
- A** 281橋で長さ15m以上で45橋中39橋、15m以下で236橋中10橋点検済み。
- 業者委託で点検している。

## 主な事業

- ・わしだ保育園園舎増築・大規模改造 1億6370万円
- ・幸田中学校地震補強・大規模改造 4532万円
- ・坂崎小学校地震補強・大規模改造 4089万円
- ・トイレ改築（三ヶ根駅前・大井池） 3418万円
- ・高規格救急車整備 2971万円
- ・道路整備（生活道路） 6997万円
- ・総合窓口設置 2944万円
- ・斎場建設負担金 1669万円

### 反対

丸山千代子議員

#### くらしを支援する町政を

財政が厳しいと町民要望は切り捨て、7億3972万円の大規模黒字である。基金は33億1922万円を積み立てた。

町税が増収となり、県下で8位の財政力である。

4月からの消費税8%への増税は、住民のくらしを直撃している。厳しい状況におかれている時こそ、くらしや営業、福祉、教育を支援する町政をすべきだ。

### 討論

### 賛成

杉浦あきら議員

#### 借り入れなしの行財政運営

財政運営の回復の兆しが見え始めた状況において、限られた一般財源の中で、都市基盤、教育施設整備、安全対策、子育て支援などの充実をはかった。

健全財政の維持を基本に「入りを量りて、出づるを制す」という財政規律を念頭に入れた効率的かつ持続可能な行財政運営を評価する。

### 反対

伊藤宗次議員

#### 行政水準と質の引き下げを強行

税収は回復しているのに、町財政は厳しいを強調し、住宅資金利子補給事業を廃止し、共同住宅のまちを促進した。

福祉は金儲けだとする事業仕分けを強行し、行政の質と水準を引き下げた。

親切ダンブ廃車で、職員をかばい、愛知自動車は信頼できるが町内業者は信頼できぬの調査報告は、役所の体質そのものだ。

特別会計・企業会計の決算額と採決結果

会計名		歳入	歳出	採決
特別会計	土地取得	9453万円	4846万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	31億5252万円	29億7925万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療	2億7123万円	2億7080万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険	14億4266万円	14億1749万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整備事業	2億8670万円	2億7249万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	3億5898万円	3億5041万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業	6億8720万円	6億7266万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計	収益的収支 6億4702万円	5億9620万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支 1億 327万円	2億3862万円	

# まちづくりの考えは？

## 問 2期目の町政 町民の幸せは

## 答 愛・歴史・伝統・文化のあるまち



笹野 康男 議員

町長の2期目のマニフェストと財政運営を問う。  
**問** 「幸せな町」とは、どういった町のことか。

**答** 町長 愛があり、歴史、伝統、文化、自然景観のあるまち。

**問** 6小学校区に、児童館の建設推進とあるが、その計画は。

**答** 幸田小、坂崎小、豊坂小学校区に建設したい。

**問** 郷土歴史館の建設は、どのような施設をつくるのか。

**答** 子どもや高齢者が交流



上空から見た役場周辺

できる方向で考えたい。  
**問** 体育館は、公約通り任期中に建設されるのか。

**答** 優先度が高い順にすすめたい。

**問** 総合福祉会館の建設を考えるべきではないか。

**答** 高齢者の交流や子どもの居場所づくりなどを、一体的なものとしてつくりたい。

**問** 現在の基金（貯金）残高は。また、町債借金は。

**答** 総務部長 財政調整基金 金22億円9000万円。町債63億9600万円。

**問** 基金は2倍に、町債借金は1/2。100億円あった借金が50億円になっている。今こそ町民のニーズに答えるべきでは。

**町長** 税収を把握し、プライマリーバランスを維持しすめる。

**問** 区長要望は充分対処すべき

**答** 精査し実施に向け考える

町づくりの基本政策は、土地利用と道路整備など、インフラ整備と考える。

**問** 毎年区長要望で、道路整備など、どの程度予算要望があるか。

**答** 建設部長 1億4000万円から2億7000万円の要望がある。

**問** 未整備の都市計画道路は何件あるか。

**答** 11路線ある。  
**問** 安城蒲郡線は、いつ都市計画決定され、現状は

どうなっているか、今後の見直しは。

**答** 昭和47年に決定をした町内8・14km中6・41km改良済みである。今後は用地買収をすすめるが、蒲郡市側の街路が具体化されないため一時凍結となる状況である。

**問** 30年前に農地造成された東光寺地区（海谷区）の開発は、工場用地、住宅用地としてできるのか。

**答** 工場用地としては、不可能と思われる。住宅用地としては、地区計画制度を活用することになる。

**問** 3学区（深溝、豊坂、坂崎）で町づくり研究会がたち上っている。行政としてどう対処していくのか。

**答** 町長 区長と一体となしすすめる考えである。



中根 久治 議員

## 問 文化財保護に本腰を

## 答 現状を維持していく



日向山古墳

文化への取組みが町の品格を決める。町の文化財に対する考え方を問う。

**問** 県内唯一の地震断層としての天然記念物の深溝断層。保護の現状は。

**答** **【教育部長】** 草刈りなど清掃管理をし保存している。

**問** 保護に県の補助金の活用は。

**答** 自治体所有の文化財には適用されていない。

**問** 草刈りだけで保護と言えるのか。

**答** 県の指定区域では、現状を維持することが基本で、草刈りを継続する。

**問** 日向山古墳は30年間も保護シートが被り、見えない。今後どうするか。

**答** 古墳は個人所有のため

現状を維持し、損壊防止に努める。

**問** 「こつた文化財ウォーキングマップ」の間違いを指摘されている。いつ回答し、訂正するのか。

**答** 文化財保護委員会と確認し回答。見直していく。

**【教育長】** ともりつばなものができたが、新しく出す時に訂正する。

**問** 拾石川の段差は三河地震に因るものではない。訂正するか。

**答** **【教育部長】** 先人の調査や文献から判断し掲載した。周辺に断層が通っており、堰自体が断層だと限定していないため、現段階では修正しない。



拾石川



鈴木 雅史 議員

# 増加している空き家の対策は

## 答 空き家対策特別措置法の動向見る

総務省の発表によれば、全国の空き家率は13・5%との発表がされた。この内訳のうち戸建ての空き家率は5・3%となっている。

**問** 幸田町における戸建ての空き家戸数はどのようになっているか。

**答** 消防長 火災予防上から空き家調査では、現在42戸である。

**建設部長** 平成20年の住宅土地統計では190戸。宅地で、空き家を更地にした場合と空き家が立っている場合の固定資産税の課税額はどのようになるか。

**答** 総務部長 一戸当たりの用地面積が200㎡までは、課税標準を6分の1、200㎡を超える分は3分の1とする特例措置がある。

**問** 今後、増加する空き家対策をどのように考えているか。

**答** 行政區、警察、ボランティアと連携して犯罪抑止に努めていく。



放置された空き家

**建設部長** 国は空き屋対策特別措置法を提案している。動向を見て対応を考えていきたい。

**問** 人口減少問題は

**答** 約10%程度増加すると見込む

厚生労働省の発表によれば男性の平均寿命が80歳を超えたとの発表があった。一方、人口の減少が問題となっている。本町の高齢化率などはどのようになっているのか。

**問** 全国と本町における高齢化比率・生産人口比率・年少人口比率はどのようになっているか。

**答** 企画部長 65歳以上の高齢化率は19・3%。15歳から64歳は63・5%。

**問** 本町における人口の見通しはどのようになっているか。

**答** 総務省の調査では、平成25年中で人口増加数の多い町村の部で全国8位。2040年までに増加すると推計する自治体80市町村に本町は入っている。約10%程度、人口が増加すると見込んでいる。

**問** 平均寿命と健康寿命の差は、全国と本町とはどのようになっているか。

**答** 健康福祉部長 全国は男性9・13歳、女性12・63歳。本町は、0・69歳、1・28歳で健康のまちである。





志賀 恒男 議員

## 問 民生委員の定員の見直しを

### 答 今後検討していきたい

民生委員の活動範囲が、年とともに広がっている。

**問** 民生委員の負担軽減のため、役場内の情報共有の体制・仕組みは。

**答** **健康福祉部長** 個々の案件は幅が広く、情報の一元化ができるものではない。

**問** 引越し転入者の情報を、民生委員に提供する仕組みは。

**答** 新たに転入した人の情報は、個々にしていない。相談支援の必要な人の情報提供をしている。

**問** 本来の相談・支援以外の活動件数が多いので忙しいと聞くが。

**答** 直接関係はないが、日頃の活動の敬意をあらわすという意味でご案内があると思う。

**問** 活動費に対する費用支払いは十分か。

**答** 県・町から交通費・通信費で年額10万円程度、相談に従事した場合は別に支払う。

**問** 配置基準に対し、民生委員一人あたりの受持ち世帯数は。

**答** 担当世帯数は、平均で336世帯となっている。

**問** 配置基準に合うよう、定員の見直しを。

**答** 今後検討していきたい。

**問** 環境モデル都市を目指す考えは

**答** 先導的・積極的に取り組む

町は、低炭素社会の実現に向け、積極的に取り組んでいる。

**問** 名鉄バス撤退後の、コミュニティバスのルートは。

**答** **企画部長** 現在の4ルートによる補完を主体に考える。

**問** 幸田駅前立体駐車場の建設を。

**答** **環境経済部長** 土地利用計画が明確になった時点で検討。

**問** 都市計画マスタープランに「緑道の計画的配置と整備の推進」とあるが、具体的計画は。



水素燃料電池車 (FCV)

**答** **建設部長** 昨年度に自転車走行の4ルートを推奨した。看板・路面シートの準備をしている。

**問** 水素燃料電池車を購入する考えは。

**答** **町長** 価格が安くなれば考えていきたい。

**問** 新産業の創生につながる大学との連携は。

**答** **企画部長** 連携している名古屋大学・愛知工科大学と環境ビジネスの創生も含めすすめていきたい。

**問** 第6次総合計画の目玉として、環境モデル都市を目指す考えは。

**答** **副町長** 先導的・積極的に取り組む。

## 丸山 千代子 議員



# 問 非核平和宣言で平和行政推進を

## 答 原爆パネル展を実施する

**問** 町長公約を問う。  
安心して暮らしていくためには平和でなければならぬ。

安倍政権の集団的自衛権行使容認は戦争への道。反対の意志を。

**答 町長** 現在の段階で、反対とも賛成とも申し上げられない。

**問** 県下で36自治体が宣言する「非核平和宣言」と平和行政の推進を。

**答** 平和首長会議は2年前に加入したが、非核平和自治体宣言は、もう少し時間がかかる。

**企画部長** 昨年度は役場ロビーで、原爆パネル展を開催。今年度は図書館ギャラリーで、来年度は8月にパネル展を実施する。

**問** 子どもの交流居場所づくしとして、0歳から18歳までを対象とする児童館を。6小学校区への推

進計画は。

**答 町長** 当面は義務教育でいきたい。

児童館のないところからすすめる。今の3カ所はリフォームしながら使う。

**問** 9項目にわたる公約は

ハコモノ建設の乱立、後年度負担を伴わない財政運営をすべきではないか。  
**答** プライマリーバランス※を考えながらすすめる。  
※プライマリーバランス 基礎的な財政収支のこと



原爆パネル展（役場ロビー）

**問** デマンドバス導入で足の確保を

**答** えこたんバスで全域をカバー

**問** 10月から名鉄バス路線が廃止され住民の足が奪われる。

町は「利用が少なく駅まで2km圏内。交通の空白はない」と認めた。バスの利用形態と住民の声は把握しているか。

**企画部長** 名鉄バスが昨年5月に2日間、調査を実施。

役場への問い合わせが16件。約7割が廃止時期の確認だった。

**問** 免許の自主返納で移動が制限される高齢者に福祉タクシーの拡充を。

**答** 不便になる人に対し、今後全町的な課題の一つとして考える。

**問** 交通弱者の日常生活を支援し、需要に応じた運行で住民の足を確保するデマンドバスの導入を。

**答** 決められた経路、時刻バス停で乗り降りするのがコミュニティバス。利用者からの予約で運行するのがデマンドバス。

えこたんバスは、ほぼ全域をカバーしており、デマンドバスの必要性は低い。

**問** 地域交通権として、コミュニティバスの体制充実を。

**答** 利便性・経済性を考え、研究する。



中根 秋男 議員

# 問 全公用車にドライブレコーダーを

## 答 新車購入時に検討する



青パトに設置

交通事故の抑止力と防犯効果が期待されるドライブレコーダー※を、全公用車に設置する考えを問う。

**問** 公用車の総台数、設置台数、設置率は。

**答** **総務部長** 全公用車86台中37台、設置率43%。

**問** 近隣市の設置率は。

**答** 豊田市98・5%、みよし市21・8%、岡崎市11・3%。

**問** 主な設置車両は。

**答** 緊急の車両、えこたんバス、庁用バス、つどいの家の車両、救急車など。

**問** えこたんバスの設置状況と記録時間は。

**答** 全車に記録時間約8時間タイプが装着。

**問** 映像チェックと安全運転教育を。

**答** 事故発生時の処理の迅速化が大きな目的。

**問** 消防署の管理台数、設置台数は。

**答** **消防長** 24台中10台設置。

**問** 設置計画は。

**答** 今後5年をめどに緊急車両に設置。

**問** 道路安全対策に利用を。

**答** **建設部長** 道路管理瑕疵の部分で活用可能性がある。

**問** 警察署と情報提供する協定を結ぶ考えは。

**答** **総務部長** 予定はない。

**問** 全公用車に、設置する考えは。

**答** 新車購入時に検討する。

※ドライブレコーダー映像を記録する車載カメラ装置

**問** 振り込め詐欺の被害対策は

**答** 高齢者防犯講話を続ける

現金を振り込ませるか手渡しさせる。

**問** 町内の被害件数、被害額は。

**答** 平成25年度は1件150万円。今年は1件1474万円。

**問** 岡崎警察署管内の被害件数、被害額は。

**答** 平成25年度は21件3476万円。今年は15件6182万円。

**問** 被害年齢層、性別は。

**答** 60歳・70歳・80歳代でそれぞれ4件。50歳代が5件、40歳代以下が4件。女性17件、男性4件。

**問** 消費者行政の面での相談内容は。

**答** 不当架空請求、未公開株や社債の購入を迫る投資商法など。

**問** 被害を未然に防止する対策は。

**答** 老人クラブを対象に高齢者防犯講話、タウンメールにて注意情報を配信。

今年1月から7月、警察庁のまとめで被害額は300億円を超えたことがわかった。詐欺被害対策を問う。

**問** 詐欺の種類と手口は。

**答** **総務部長** 架空請求、融資保証金、還付金、オレオレ詐欺の4種類で、



水野 千代子 議員

# 問 地域包括支援センターの増設を

## 答 当面1カ所でやっていく

超高齢社会に対応し、介護状態となっても住み慣れた地域で暮らしていけるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築が重要となる。

**問** 高齢者の実態調査は、健康福祉部長

**答** 65歳以上の生活動作、介護割合、転倒や認証リスクなど二

**問** ボランティアアポイント制度の導入。

**答** 担い手の確保が必要になるため検討したい。

**問** 見守りネットワークの拡充を。

**答** 新聞配達や電気の検針など広範囲で拡大。

**問** 在宅医療と介護の連携はどのようか。

**答** 医療と介護サービスを一体で提供するため、第6期介護保険事業計画で

推進体制を図っていく。  
**問** 介護給付費の抑制と低所得者への軽減を。

**答** 国は低所得者軽減の方向であり、第6期の保険料の算定で改訂する。

**問** 地域包括支援センターの増設を。

**答** 日常生活圏を町全体として考えており、当面は1カ所でやっていく。



健康づくり体操

**問** 認知症カフェの開催を

**答** 開催に向け取り組む

厚労省は、65歳以上の4人に1人が認知症と予備軍と推計している。

国は「認知症施策推進5カ年計画」を策定、早期・事前的な施策などを推進するとしている。

**問** 認知症の現状は、健康福祉部長

**答** 65歳以上で、6・6%の割合になる。

**問** 「認知症ケアパス」の作成を。

**答** 第6期介護保険事業計

画に反映するように、準備をすすめている。

**問** 気づきエックリストをホームページに。

**答** 発見の手段として検討したい。

**問** 認知症サポーター養成の拡充を。

**答** サポーター養成講座は626人が受講した。引き続き取り組む。

**問** サポーターのいる商店企業にステッカーを。

**答** 商工会などと調整し検討したい。

**問** 患者や家族が集い、専門職から助言を受けたり、交流を深める場所「認知症カフェ」の開催を。

**答** 居場所づくりとして必要であり、できるだけ早いうちに開催に向け取り組んでいく。



浅井 武光 議員

## 問 イノシシ対策の拡充を

## 答 補助金の拡充を検討する



捕獲されたイノシシ

収穫を直前にして「イノシシ」が暴れまわり被害が発生している。早急な対策を求める声も多く届いている。

**問** 被害報告は、

**答** **環境経済部長** 平成23年から3年間で、130頭から140頭が捕獲、駆除されている。

平成25年度の被害は、面積1.01ha、量1576kg、額34万8000円。

**問** 被害を受けた農家からの意見があるか。

**答** あげが壊され水の管理ができない。稲に、おいがつき共同乾燥ができないなど。

**問** 近隣の被害状況と対策は。

**答** 岡崎市は1518頭、被害額は1089万円。蒲郡市156頭、ミカン被害がある。両市は鳥獣被害防止対策事業を実施

している。

**問** 国・県の総合対策事業の補助制度を活用するために、鳥獣被害対策協議会の設置を。

**答** 広域的な取り組みが必要であるため、今年度中に協議会を設立し、制度を活用していく。

**問** 町独自の鳥獣害（イノシシ）対策の拡充を。

**答** 捕獲免許取得補助金など拡充の方向で検討する。

**問** 急傾斜地などの災害対策を

**答** 現地調査をして26カ所を指定

**問** 今年の夏は広島、北海道札文島など各地で想定外の豪雨が発生した。本町の対策を問う。

**答** 急傾斜地崩壊指定区域、土石流危険渓流の箇所数と対策済み箇所数は、

**答** **建設部長** 急傾斜地は

16カ所、15カ所が済み。土石流は159カ所で、砂防指定地の1カ所が済み。

**問** 土砂災害危険箇所が136カ所、警戒区域の指定が23カ所であるが、新たな指定で急傾斜地などの災害対策と住民周知は。

**答** 今年度、現地調査をして26カ所を指定する計画である。今年の5月全戸配布した「防災ハザードマップ」で明記している。

**問** 警戒区域の指定がされると資産価値が下がるため、難色を示す住民もいるがどうか。

**答** 警戒区域は建築制限はかからない。特別警戒区域になると住宅分譲などの特定開発行為が許可制となる。建築構造制限や評価率が若干低減される。

**問** 土砂災害警戒情報が出された場合の情報入手、避難勧告、周知は。

**答** **総務部長** 気象台から瞬時に町へ情報が流れ、対策本部で避難勧告の判断をして発表する。行政無線、タウンメールなどで周知する。



伊藤 宗次 議員

# 豪雨災害被災地が適地なのか

## 関係機関と協議しすすめる

**問** 須美前山・東山地区拡大工業区域の設定は町が勝手に線引した。

**答** (企画部長) 地元区からの要望があり、なおかつ地元で説明した中ですすめている。

**問** 前山地区推進協議会設立総会欠席者に出席したことにしてくれとは。

**答** 地元の役員が欠席者を回られたということは聞いている。

**問** 委任状は総会前に提出されるもの。総会後に提出を求めるはデッチ上げ、ねつ造だ。

**答** 総会は31人の内19人が出席しており成立している。

**問** 区域から保安林除外したが、議会には口をぬぐい説明せぬはなぜだ。

**答** まだエリアは決まっていない。

**問** 開発手法は、県企業庁

だから地権者100%合意が必要だの強調は。

**答** 地元役員が協議している。

**問** 1974年(昭和49)7月7日の豪雨災害被災地域が工業団地の適地なのか。

**答** (企画部長) 須美・逆川・桐山などで果樹園の崩壊の記載はある。今後、開発の中で関係機関などと協議しながらすすめていきたい。



土取り中の須美前山地区

**問** プライマリーバランスとは何か

**答** バランスを保つ財政運営

**問** 所信表明と施政方針の違いは。

**答** (町長) 就任の挨拶と新たな取り組みである。

**問** ハコモノつくれば維持管理費がついて回るが、ハコモノとどんどんつくるとは。

**答** 今後の4年間で全てができるとは思っていないが、さらに充実した幸せな町をメインに出していきたい。

**問** 言葉のアソビだ。

**問** 仕事せずの4年間を正当化するプライマリーバランスとは何か。

**答** バランスを保つて財政運用をおこなっていくことである。

**問** 今後の税収見通しは。

**答** (総務部長) 今年度と同じの84億円程度をベースに考えている。

**問** 法人町民税率に超過税率適用し財源確保を。

**答** (町長) 今、実施する考えはない。

**問** 施策推進の原則。基本は何か。

**答** 基本的に総合計画とされている。

**問** ハコモノは、基本構想、基本設計、実施設計の流れだが各段階で議会として協力協議すべきだ。

**答** 議会に事前に話してすすめたい。

**問** 報告でよしとする感覚は、議会を承認機関と見るものだ。

**答** 事前に話もすすめる。

## 産業建設

8月18日 協議会開催

平成27年度から10年間で、都市計画課が管理する公園と施設の長寿命化計画を策定した。

**Q** 策定の背景は。

**A** 現状の機能を長期的に発揮し、維持管理予算の縮減などをおこなうための対象とする公園と施設数は。

**A** 16公園、738施設。

**Q** 施設の健全度判定の基準は。

**A** 劣化や損傷状況により4段階に分類し、今後も利用を続けるためおこなう。

平成25年度の清掃事業実績

563人の人口増に対し、

## 公園施設 長寿命化計画

**Q** ごみ総排出量は1万76トで、1人当たり6g減少した。

**A** 生活系と事業系ごみの排出量は。

**Q** 前年度に比べ生活系ごみ61ト増、事業系ごみ7トの減。

**A** 粗大ごみの回収内容は。

**Q** 搬入人数は1万6555人、450トで前年度より43%の増。

**A** 町民総参加クリーン運動の実績は。

**Q** 平成25年度2回の実績は、5295kgであり区長会に示していきたい。



幸田文化公園

## 中央クリーンセンター など視察

7月18日 現地視察

岡崎市中央クリーンセンターなど15カ所の現況の視察をおこなった。

**中央クリーンセンター**

・可燃ごみを処理している焼却場。  
・処理能力は380ト/日を焼却。

・施設の特徴はガス化炉と高温溶融炉を一体化し余熱利用により発電。

**占部川遊水地**

・占部川に合流している占部川遊水地。  
・遊水地の概要および規模は、面積3.7ha・貯留量7万8000m<sup>3</sup>。豪雨の時、溢れた水を一時的に貯留する。

・その他、急斜地崩壊対策工事、土地区画整理事業、河川改修などを視察。



占部川遊水地（岡崎市）

文教福祉

8月11日 協議会開催

質の高い幼児期の学校教育・保育の提供、保育・教育の量的・質的改善、子育て支援の充実の3つを目的とした新制度が、平成27年4月から始まる予定。

Q 新制度の特徴は。

A 民間の小規模保育（定員6〜19人以下）や事業所内保育（地域の児童の受入れ）などが加わる。

Q 新たに始まる子育て支援は。

A 病児・病後児を病院や保育所に専用スペースを設け、看護師などが一時的に保育するものであり、検討したい。

また、保護者世帯の所得に応じ、教育・保育に係る費用を助成する。

子ども・子育て支援新制度



保育園楽しいよ（坂崎保育園）

高齢者肺炎球菌

予防接種始まる

10月から定期接種になる。対象者には、接種券が郵送される。

Q 自己負担の費用は。

A 1人2000円。

Q 希望者は接種可能か。

A 過去の接種から5年以上経過していれば対象となる。

総合福祉センターなどを視察

6月30日・7月1日、静岡県伊東市、牧之原市、神奈川県座間市を視察した。

伊東市

新保健福祉施設

整備基本構想

老朽化した保健福祉センターに代る施設を企画。子育て支援から高齢者福祉・介護予防、三世代交流の促進、防災拠点などの多機能

集約型が特長。市の中心に建設予定で、意欲的な構想。

座間市

総合福祉センター

コンセプトは、市民の福祉を図る総合的な施設。在宅福祉、療育訓練、市民交流、地域福祉活動などの施設と社会福祉協議会が一体となった運営・管理。福祉のワンストップサービス

牧之原市

牧之原市史料館

相良城本丸跡に建つ史料館で、大屋根に白壁の特徴ある外観。1階が展示場、2階が多目的ホールで、田沼意次藩主に関する物を展示。学芸員が常駐し、展示計画にもとづき、リピーターの確保に工夫している。



総合福祉センター



# 島原市との交流

## 総務

8月19日 協議会開催

今年、島原城天守閣復元50周年記念事業として「深溝本光寺宝物展」「松平家歴史ゆかりのサミット」を、島原市で開催するため、本町も参加する。

期日 10月10・11日

参加市町は、幸田町、大分県豊後高田市、京都府福知山市。

幸田町からの参加者は、町長をはじめ職員4人、町議会議長、三河万歳保存会5人。



松平家歴史ゆかりのサミット in 島原

**Q** 宝物展に出展予定品は、本光寺と島原市で調整中である。

**Q** 消防水利設置の現況

**Q** 消火栓、防火水槽の点検は。

**A** ポンプ車で年2回消防水利の点検、維持管理を調査している。

**Q** 消防水利の整備、設置計画は。

**A** 平成27年度に消火栓1基、防火水槽1基を予定している。

## 総合開発

8月6日 現地視察

幸田駅前土地区画整理事業のBブロックの進捗状況と、駅前銀座の利用状況の現地視察をおこなった。

**Q** 建物移転状況は。

**A** 79件中68件が移転。86・1%。

**Q** 当初予定のビル建設はどうなったか。

**A** 地権者が協議中。

**Q** 町有地（公園）の面積と活用方法は。

**A** 1000㎡で、今後推進委員会、及び関係者にてワークショップをおこない有効な活用方法を検討。

**Q** 金融機関の開業は。

**A** Bブロックの関係者と協議中。

## 幸田駅前土地区画事業を視察



進捗状況を視察

防災対策

8月7日 協議会開催

愛知県東海地震・東南海地震・南海地震などの被害予測調査結果を協議。

Q 防災リーダー養成研修会の受講者は。

A 7月12日、中央公民館で実施。70人が受けた。

Q 愛知県の被害想定数値が発表されたが。

A 県全体の想定であり、町の想定は250m×250mで想定している。

Q 防災と減災、急傾斜地対策などの関係部署との連携が重要だが。

A 減災では、耐震化を推進している。急傾斜地をマップ化したい。

Q 県の被害想定は、南海トラフだ。内陸の直下型

南海トラフ地震  
被害予測結果



防災リーダー養成研修会

A 地震を想定したマップを。内陸型の直下型地震被害予測はしていない。

幸田中学校

防災備蓄倉庫設置  
工期は7月9日から11月7日まで

Q 幸田中学校設置以降の計画は。

A 27年度南部中学校。28

年度北部中学校を計画。食糧の備蓄が少ない。40人分で3日分。スペースが狭いので消防署から補充する。

Q 医薬品の備蓄は必要なのか。援護体制は。

A 医薬品は、小学校の防災倉庫で備蓄している。救護は、健康課が対応する。

7月15・16日 静岡県中電浜岡原発、静岡県防災センター、長野県大鹿村中央構造線博物館を視察。  
中電浜岡原子力発電所  
3・11東日本大震災で東

運転停止中の  
浜岡原発など視察

京電力福島第一原発の爆発事故などで国の要請で運転を停止している。東海地震の震源域にあり、活断層が真下を通っていると指摘されている。危険な地域に存立する浜岡原発。

地震対策、津波対策などさまざまな補強工事中だがどのような事態でも原発を安全にコントロール出来ぬ今日、再稼働ありきに大きな不安と懸念を抱いた。



中央構造線博物館

長野県大鹿村 中央構造線博物館  
日本で唯一の中央構造線の博物館。敷地の真下を通る「中央構造線」。中央構造線という大断層は、日本列島が大陸から離れ日本列島が形成されるなかで巨大な断層になり研究がすすめられている。中央構造線研究の学芸員の解説を受け、内陸地震発生の仕組みや備えなど、幸田町の防災を考え、学ぶことができる博物館である。

## 総合計画

8月8日協議会開催

町の将来像を決め、その実現に向け「6本の柱」から組み立てられた基本構想案を協議した。

Q 地域の声をどう反映するか。

A 多くの住民の声や議会など広く意見を聞く。

地域計画は、部門別課題として取り上げていく。

Q 各種団体との懇談会とは。

A 項目ごとに懇談の場を設定。

例えば「安全・安心」は、消防団や女性消防クラブなどと協議する。

Q 人口計画と4万2000人の根拠は。

A 国勢調査と人口問題研究所のデータに基づく。

## 基本構想（案） 示される



区画整理がすすむ六栗地区

Q 町民憲章と比較して、「スポーツ・青少年」と

いう言葉がないが。

Q A 検討する。産業振興の項目で「幸

田から・全国へ・世界へ」とは。

A 農産品や工業製品のさらなる振興を表現している。

## 読まれる 議会だよりめざす

## 議会広報



砂防会館で研修

第80回全国町村

議会広報研修会

7月10・11日、東京千代田区砂防会館で開催された。

①わかりやすい表現・表記

②議会広報誌の編集。読まれる議会広報誌。

③写真の見方、考え方。

④議会広報クリニック。

など専門の講師による研修を受けた。

文章の基本は、読者にわかるように書く。

かってもらえることであり、文章を短く、目次、見出しで、読まれる議会だよりとなる。

写真は意思を持って撮り、そして、動きのある人物を入れて効果的に使い、読みやすい紙面とする。

これからも読まれる議会だよりをめざして編集に生かしていきたい。

# の三大運動

友愛



奉仕



幸田町老人クラブ連合会（幸老連）の代表と9月5日に座談会を開催しました。



市川会長

**市川正会長の話**  
 会員は、健康・友愛・奉仕の三大目標を目指し、スポーツ、コーラスなどを楽しみ、奉仕に張り切っております。  
 元気でさつそうと出掛けられるおじいさん、おばあさんを目指して、皆さんも是非ご加入ください。

**座談会参加者（敬称略）**  
 会長 市川 正  
 副会長 吉本 裕  
 副会長 林 喜好  
 会計 齋藤智計  
 女性部長 赤松麗子

**クラブの紹介**  
 老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主組織。活動は、「生活を豊かにする楽しい活動」「地域を豊かにする社会活動」に大別され、支え合いといきがいづくりに取り組んでいる。地域づくりとして、神社の清掃や生活習慣病の勉強会、交通安全講座がある。幸老連の代表と座談会を開き会員の皆さんから、ご



広報委員との座談会

意見とアンケートをいただきました。

老人クラブ数と会員数	町内クラブ数	22
男性	824人	
女性	1079人	
計	1903人	

**主な年間スポーツ行事**  
 ゲートボール大会  
 グラウンドゴルフ大会  
 スポーツ大会  
 ペタンク大会など



ゲートボール大会

## 座談会

座談会では、老人クラブの活動の様子が題材となりました。  
 主な項目は、次のとおりでした。  
 ①生活習慣病などの勉強会  
 ②交通安全の講座。（会員の事故がないこと）  
 ③地区交流のゲートボール大会など。

**女性部の活動**  
 コーラス、フォークダンス、銭太鼓の練習と発表会。ほかに陶芸教室、歌謡クラブなどがある。

# 幸老連

## 健康



元気に歌う



### 皆さんからのアンケート

○議会だよりを見ていますか。

- ・見ている 9人
- ・時々見る 2人
- ・見ていない 1人
- ・回答なし 2人

○どんな内容が知りたいですか？

- ・議員の活動状況
- ・一般質問とその後の追跡
- ・身近な議案は特集を
- ・住民の声を聞くコーナー

○リーダーとしての使命感は

- ・絆を深めお役に立ちたい
- ・無理なく楽しめること
- ・健康と生きがいを見つづけること
- ・心のつながり

○良いところ

- ・人の輪が広くなった
- ・仲間が増えた
- ・心が晴れ、体も健康になった
- ・他地区の人達と会える
- ・世代間の交流がある

○困っていること

- ・老人という言葉に抵抗を感じる
- ・男性会員の入会が少ない

○議会です話してほしいこと

- ・生活しやすい幸田町に
- ・環境問題
- ・幸田町第6次総合計画の充実
- ・町全域均衡のとれた発展
- その他のご意見(抜粋)
- ・幸老連は、平成27年に創立50周年を迎えます。

### 新入会員の声

入会の切っ掛けは、市場老人クラブ(新寿会)の存在を知人から聞き、人生も意義に遇せたらと思いい入会しました。ゲートボール・グラウンドゴルフで良い汗を流しています。皆さんと和氣藹々(わきあたたか)に楽しい思い出を、心に残しています。(中略)

まだ、未加入の皆様も是非、加入されて一緒に楽しみませんか。

金原唯男(市場区)

大阪から息子の家に近い横落に越してきた。寿会に入会して仲間ができた。行事には欠かさず参加する。話をするのが楽しく、行事のある日には欠かさず出かける。これが私の長生きの秘訣。話すと世界が明るい。

船本清子(横落区)

仲間づくりと健康、友愛奉仕を柱として実践。これからも組織の充実、活発な活動を推進したい。元気な高齢者を支援していただく「総合福祉会館(仮称)」の新設を期待しております。

- ・高齢者ふれあいプラザの北部版を設置してください。
- ・その他防災、減災対策など、多数のご意見がありました。

### 会員募集中

#### 申込みは 地区役員まで

本稿の編集にご協力いただきお礼申し上げます。貴重なご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいります。「幸老連」の皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



# みんなの協力で成功した夏祭り

7月31日に全校のみんなや地域の人たちを招待して「坂崎小学校・夏祭り」をしました。

1学期の間にボウリング、輪投げ、バスケット、スーパードールすくいや迷路などたくさんゲームについて計画を立てて準備をしました。

ほくは「ユニホッケーのペナルティショット係」で笛を吹くことになりました。

た。最初は2、3人しか来な

かったけれど、部屋の前で大きな声を出して宣伝をしたら、だんだんとお客さんが増えてきました。すごい人が来て、大変だったけれど、裕飛くんや美香さんが助けてくれて、無事に乗り切ることができました。

大変なこともあったけれど、友だちの協力があったからこそ無事にできたと思えました。

か

# あいさつでつながる幸田町

8月19・20日におこなわれた子ども会議で、幸田町の未来について話し合いました。

幸田町の良さは地域とのかかわりの深さだと思えます。私は小学生のころから元気よくあいさつをすることを心がけています。登下校のときに地域の方にあいさつをすると、笑顔のあいさつが返ってきたり、「がんばってね」と励ましの声を

かけていただいたりします。あいさつを通して、地域の方と心が通い合うようになったのだと思います。

会議の中で他の学校の子たちの話を聞いて、地域の方とのつながりがとても素晴らしいものだ改めて気づきました。



絵: 牧野次男さん (芦谷)

## あなたも議会を傍聴してみませんか

12月定例会、本会議の予定です。

- 会期の日程
 

12月 1日 (月)	開会、議案の説明
3日 (水)	一般質問
4日 (木)	一般質問
9日 (火)	議案の質疑
10日 (水)	議案の質疑
22日 (月)	討論、採決、閉会
- 場所 役場5階 議場
- 時間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ  
TEL 63-5151 (直通)

## 編集後記

今回「議会だより」の編集委員になり、写真の撮り方、決算の検証、主な質疑、一般質問などを編集していますが、まだ書き方、表現方法が分からないところが多くあります。思えば、学生のころから

新たな発見をお届けできる、魅力ある広報誌になるよう私自身学習していきたいと思えます。愛読者が一人でも多くなるよう願っています。(杉浦あき)

作文や小論文を書くのがとても苦手。編集委員になって東京で開かれた議会広報研修会に参加してわかるようになりました。また、他の編集委員とともに、さらなるレベルアップを目指し努力していきます。

- 「生涯学習」という言葉がありますが、学びは人生を豊かにします。議会の内容を分かりやすくお伝えし、皆様に
- |          |      |       |
|----------|------|-------|
| 議会 発行責任者 | 議長   | 大嶽 弘  |
| 議会 編集    | 委員長  | 浅井 武光 |
| 議会 編集    | 副委員長 | 中根 秋男 |
| 議会 編集    | 委員   | 丸山千代子 |
| 議会 編集    | 委員   | 水野千代子 |
| 議会 編集    | 委員   | 鈴木 雅史 |
| 議会 編集    | 委員   | 志賀 恒男 |
| 議会 編集    | 委員   | 杉浦あきら |

